


10 深田防犯クラブ（大治町）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	深田防犯クラブ
2 事業名	深田地区住宅対象侵入盗対策事業・自動車盗撲滅事業
3 事業実施結果	<p>当団体は、大治町深田地区の中高年代を中心に構成されたボランティア団体で、主な活動は月3回の徒歩防犯パトロール活動です。地域自主防犯活動活発化促進事業期間内には、防犯パトロールを13回（うち夜間6回）行いました。本年結成5年目を迎えましたが、今回の事業では更なるパトロールの強化、マンネリ化の防止のための新たな活動・取組等を実施し、犯罪のない安全・安心な明るいまちづくりの推進に努めました。</p> <p>1 パトロール体制の強化（A事業）</p> <p>（1）結成当時から使用していたパトロール資材（帽子・ベスト）は、愛知県自主防犯団体設立支援事業で提供いただいたものです。今回の事業で購入した「深田」「防犯」のシールを両肩反射材部分に貼り、団体名を明らかにしたことにより会員の士気と連帯感を高めることができました。また、パトロール時に地域住民に団体名の周知ができました。また、今回の事業で新規会員用に、帽子7個を購入させていただきました。</p>  <p>（2）防犯ハンドPOP（次項左写真赤丸内）及び「みんなでつくろう安全・安心の街防犯パトロール実施中」と書かれた防犯横のぼり旗（次項右写真赤丸内）を今回の事業で購入し、パトロール時に把持して住民に活動をアピールする「パトロールの見える化」を図りました。これを見た不審者に当団体の強い団結力と高い防犯意識を示し、犯罪を断念させることができたと確信し</p>

ています。



昼間パトロール



夜間パトロール

(3) ライトホイッスルボールペンを購入し、防犯パトロール活動時の不審者対策を行い、安心して防犯パトロールに取り組むことができました。防犯ハンドPOPは軽くて持ちやすく、よく目立ちます。また、夜間パトロール用に3WAY多機能ランタンを購入し、パトロール中の交通事故防止に努めました。



ライトホイッスルボールペン



3WAY 多機能ランタン



防犯ハンドPOP

- (4) 会員の自転車前かご前面に「不審者警戒中」の表示板を付け、自転車で買い物などに外出した際は、防犯パトロールを実施し、パトロール活動の強化と常時警戒化に努めました。地域住民にも表示板を配布し、装着を呼びかけるなど、防犯パトロールの広域化、不審者対策強化を図りました。表示板は約 40 枚配布しました。



表示板を取り付けた自転車の状況

2 住宅対象侵入盗、自動車盗を撲滅するための街頭啓発活動の実施（B事業）

(1) 街頭広報啓発活動

8月20日アオキスーパー大治南店前、11月20日同大治店で午前10時30分から概ね1時間、役場職員と（11月20日は津島警察署員にも協力していただきました）連携し、防犯意識の高揚を図るため、街頭広報啓発活動を実施、買い物客に啓発品を配布しながら、住宅対象侵入盗被害対策、自動車盗被害対策、特殊詐欺被害対策、子ども・女性の安全対策広報啓発を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員は非接触型体温計で検温、活動時のマスク着用、ゴム手袋を使用し、啓発品はレジ袋に入れるなど密接対策を徹底し、コロナ禍での活動でも理解が得られるよう工夫を凝らした街頭広報啓発活動を行いました。



アオキスーパー大治南店（8月20日）の状況



アオキスーパー大治店（11月20日）の状況

(2) 防犯のぼりの携行、独自のチラシの作成配布

防犯パトロールでは「車ドロボー多発」と書かれたのぼり（写真内赤枠）を携行し自動車盗撲滅の防犯意識高揚を図り、独自に作成した住宅対象侵入盗防止及び自動車盗難撲滅チラシを各戸配布しました。



独自チラシは広報効果大でした

住宅対象侵入盗被害多発中!

ドロボーがあなたの
家を狙っているかも



愛知県の住宅対象侵入盗被害は、本年9月末現在1,057件、大治町も9月末現在5件の被害が発生しています。被害のすべてが窓からの侵入です。侵入盗は、犯行中に家人と鉢合わせしてしまうと居直り強盗などに発展する恐れのある犯罪です。

- 在宅中、就寝中でも常時施錠する。
- 外出時はすべてのドア・窓を確実に施錠し、ラジオ・電灯などをつけたままにし、不在を悟られない。
- 補助錠やガードプレートを取り付ける。
- センサーライト・防犯カメラを取り付ける。
- 防犯性の高いCPマークの付いた建物部品を取り付ける。

などの対策をしてください。また、不審者(車)を見かけたら直ぐ110番してください。

深田防犯クラブ

自動車盗難被害多発中!

ドロボーがあなたの
愛車を狙っています



愛知県の自動車盗難被害は、本年9月末現在360件、大治町も9月末現在4件の被害が発生しています。盗まれた自動車は偽造ナンバーが取り付けられ、窃盗グループなどが二次犯罪の犯行の足に使われます。

対策として

- ドアロックは確実にする。
- ハンドルロック、タイヤロックなどプラスワンの対策をとる。
- 車庫などにセンサーライトを取り付ける。
- スマートキーは玄関付近に置かない。金属製の缶などに入れ、**リレーアタック**を防止する。

※

※リレーアタックとは、スマートキーが発する微弱な電波を読み取り、偽造キーを作りエンジンを始動させ盗む手口です。ガラスを割るなどが必要ないため、修理なしで走りさばくことができます。

不審者(車)を見かけたら直ぐ110番してください。

深田防犯クラブ

(3) 防犯診断の実施

11月10日活動区域の高齢者家庭などを訪問し、住宅対象侵入盗を防止するため、元警察官の役場防犯指導員の指導を受け、防犯診断チェック表(左下)を活用し防犯診断を行いました。

また、関連・付随する業務として特殊詐欺防止広報啓発活動も行いました。この活動の際、高齢者の健康状態を聞くなどして孤独死を防止する二次的な効果もあったと考えます。

あなたの家の防犯診断
こんにちは! 深田防犯クラブです
住宅対象侵入盗が多発しています
このチェックシートで「家の守り」が大丈夫か自己診断しましょう

外国

- 道路からの見通しを妨げる緑植やフェンスはなし
- 門扉には検知機能があり、録画機能付きインターホンがある
- 庭に2階への足場になるような室外機、車庫、物置が家屋に近接して設置されていない
- センサーライト、防犯カメラなど防犯機能がある
- 道路に防犯碑が設置されている

建物

- 窓には防犯フィルムが貼ってある
- サッシには補助錠があり、活用している
- 不正開閉に備え、警報機がついている
- 花鳥になる窓には面格子がある
- 雨どいからベランダへ垂れ流し排水になっている

玄関・勝手口

- 玄関ドアはCP建物部品を使うなど丈夫である
- ワンドアロック、ガードプレート、サムターンカバーがついている

さあ、何箇所チェックがありましたか?

被害にあわないため、日頃から心がけること

- 悪徳貸金店にタメ、長時間の外出でも必ず施錠し、ラジオをつけたままにするなど不在を悟られない工夫をしよう
- 在宅していても施錠してください
- 家には高額の現金、貴金属を置かないでください
- 長期留守にする場合は、室内灯を点灯したままにする、新聞を止めるなどの配慮をしてください
- 住民同士のあいさつを断行し、見知らぬ人には声をかけしてください

深田防犯クラブ



(4) 後継者育成のための取り組み

後継者育成、会員勧誘は活動の輪を広げ、会員個々の負担軽減や活動の活発化のため重要です。当団体では新規会員の募集のためチラシ（左下）を作成、各戸配布したところ、会員が1名増えました。また、地域密着情報誌くれよん（発行部数 15,000 部）12月号に当団体の活動が紹介され、その中で「求む新しい会員仲間」として新規会員募集情報を掲載してもらいました。

防犯活動 しませんか？


日頃、ウォーキング、犬の散歩などをされている方へ

ウォーキングをする時、防犯キャップをかぶる、防犯チョッキを着ること、これだけで地域の防犯力を高めることができます。姿を見せる「ながら防犯パトロール」から始めませんか？

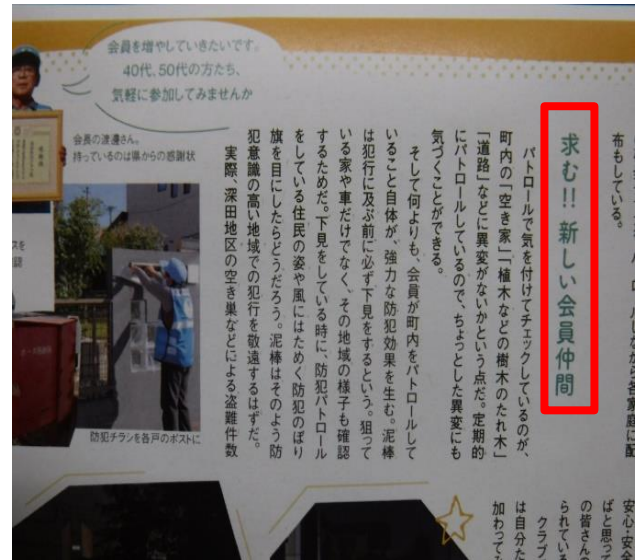
犯罪に強いまちづくりには地域の結束力が欠かせません。「自分たちの街は自分たちで守る」という考え方で、深田防犯クラブと一緒に活動しませんか？会費は一切ありません。まずは「お試し体験防犯パトロール」してみませんか？

ドロボーは**地域の目**を大変嫌うと言われます。安心安全なまちづくりのため、笑顔であいさつ、談笑しながら楽しくウォーキングしましょう。私たち「深田防犯クラブ」は、愛知県知事から地域自主防犯活動功勞により表彰された団体で、防犯以外の目的はないボランティア団体です。ご安心を。

連絡先 深田防犯クラブ
会長 渡邊 090-4165-3485



募集チラシ



地域密着情報誌くれよんの記事

(5) 防犯講習会の開催

会員の士気高揚と資質向上のため、11月14日（土）午前10時から概ね1時間、大治町総合福祉センター「希望の家」で津島警察署生活安全係近藤巡査部長を講師として招へいし、住宅対象侵入盗、自動車盗、特殊詐欺対策等について防犯講習会を行いました。講話では落語を織り交ぜた講習で楽しく、興味深く聞くことができました。コロナ禍のため参加人数を会場の定員の半数に絞り、換気を徹底するなど感染対策に努めました。

○ 参加者 37人



チラシによる防犯講習会参加者の募集



防犯講習会の状況

3 地元企業や隣接地域と連携した防犯パトロールの実施（C事業）

（1）地元事業所敷地への防犯のぼり旗の掲出

名古屋銀行、中京銀行、平安会館など地元事業所5社に協力を求め、敷地内にのぼり旗を立て防犯意識の高揚・周知を図りました。事業者側は「地域貢献をしたい」と快諾していただき、中には防犯啓発に役立ててほしいと啓発品の提供を申し出ていただいた事業所もありました。



名古屋銀行大治支店



平安会館大治斎場

（2）合同防犯パトロールの実施

11月7日（土）午後7時から約1時間、隣接地域で防犯活動を実施している「花常地区自主防災会」と連携し、合同防犯パトロールを実施しました。花常地区自主防災会は当団体より長い活動実績があり、合同パトロール中、双方の会員同士で情報交換や意見交換するなど有意義な活動となりました。

2団体合わせ11名の参加となり、活動人員の減少や活動員の負担増に悩む団体が多い中、このような合同活動を行えば多数の人員の確保が可能になるというモデルケースになると思われました。今後も本活動を継続していくことになりました。



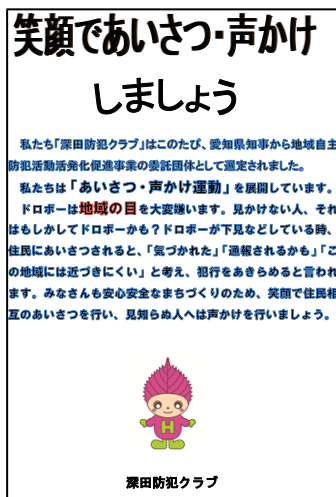
4 あいさつ・声かけ運動（D事業）

(1) 住民が見知らぬ人にもあいさつ・声かけすれば、その見知らぬ人が実は犯罪者・不審者であった場合、犯行を断念させることができる可能性がある有益な活動であり、犯罪の抑止力になることが期待できることから、啓発チラシ（左下）を作成し、運動を広げるため各戸配布しました。

この活動は、当町では2年前、地域自主防犯活動活発化促進事業に取り組んだ「大治町年輪ボランティアの会（ONBの会）」が「みんなで広めよう あいさつ運動」と表記した横のぼり旗を、各小学校門のフェンスに設置して始めた活動です。

12月9日、同会の役員会に当団体会長も出席し運動を協力強化させていくことが決まりました。両団体は協力関係を構築した記念に前記横のぼり旗を、大治小学校門のフェンスに協働で掲示し、積極的なあいさつ・声かけ運動の推進を広報しました。（右下）

また、他の小学校2校、公共施設4か所のフェンスにも同様の横のぼり旗を掲示しました。



当団体独自のチラシ



ONBの会山崎会長と当団体渡邊会長が各小学校、コミュニティセンター等のフェンスへ掲出することを合意

(2) 防犯パトロール中には「みんなで広めよう あいさつ運動」と表記した横のぼり旗を携行し、地域住民にあいさつ・声かけ運動の重要性について説明しながら視覚にも訴える広報に努めました。



(1) 事業実施の成果及び課題

ア 成果

① 当団体の活動は、補助金を受けず、会費も徴収していません。ベストや帽子の調達は愛知県から、のぼり旗などのパトロール資材は大治町防犯協会からの提供でまか纳っていました。

今回の事業で、パトロール用の資材を購入・整備することができ、防犯パトロール活動を更に強化し、あいさつ・声かけなどの活動を通じ、犯罪のない安全・安心な明るいまちづくりの推進に寄与できました。

② 啓発品を多数購入することができ、当団体主催で街頭広報啓発活動を2回実施することができ、当団体名と活動内容を広く住民に周知することができました。役場主催の広報啓発活動にも積極的に参加しました。活動の活発化により、会員が1名増えました。

③ のぼり旗の掲出活動を通じて地元事業所数社から協力を得ることができ、ティッシュボックスなどを広報啓発品の一部として使ってほしいと提供がありました。地元事業所との連携・協力関係の構築による地域ぐるみの防犯活動の輪と防犯意識が向上しました。

④ 隣接の自主防犯団体と合同パトロールを実施することにより、長く活動をし、経験豊富な他団体の良いところを吸収することができ、活動の参考となりました。会員も他の団体の会員と交流を深め、活力を得て士気が上がりました。

⑤ 当団体は、令和2年度安全なまちづくり愛知県民大会において愛知県知事から感謝状を授与されました。写真は町長に受賞報告した際のもので、町長から祝意と日頃の地道な活動に対する謝意、今後の活動の継続を依頼されました。また、令和3年津島警察署長感謝状受賞が決定し二重の喜びです。

4 成果と課題及び今後の取り組み



町長への県知事感謝状受賞報告

- ⑥地域密着情報誌「くれよん」12月号に当団体の活動が掲載され、地域住民に当団体の名前と活動を周知することができました。また、会員の更なるモチベーション向上となりました。



くれよんの記事

イ 課題

①大治町役場防災危機管理課との反省検討会

当団体が行った自主防犯活動には役場の助言・支援が不可欠でした。そこで12月14日、5か月間の活動を振り返り、今後を見据えた課題を話し合うため反省検討会を行いました。

防災危機管理課長から、当団体の自主防犯活動成果に対する謝意と末永い活動の継続、後継者の育成、新規会員の勧誘が大切な課題との助言をいただきました。我々は、今後も安全で安心な明るいまちづくりに貢献し大治町や地域に恩返しします。正しいことをした自信があります。



- ②活動のスローガンを「健康第一、無理せず、楽しく、地域の安全を守ろう」とし、一致団結し活発な活動を行いました。会員は高齢化し、後継者の確保が困難な状況ですが活動は欠かさず行っています。よって今後現会員に対しては、徐々に負担が増えることが懸念されます。

防犯活動を継続・強化していくためには、他団体との連携強化のみならず、将来は合流も視野に入れていく必要があると考えます。

(2) 今後の取組み

- ア リーダー的後継者の確保、人材の育成、新規会員の勧誘に努めます。
- イ 学校やPTA関係者との交流を深めるとともに、役場や警察、他の防犯団体との連携を強化していきます。
- ウ 防犯講習会による会員の資質の向上、街頭啓発活動の継続的实施による地域住民の防犯意識の高揚を図り、安全・安心なまちづくりに寄与していきます。
- エ 警察や役場防犯指導員の助言などをいただき、新たな防犯活動を行うことによってマンネリ化を防ぎ、他の団体の模範となるような新しい施策を考え提案し、実践していきます。
- オ 大治町がセンサーライトを設置した町民に補助金を交付する事業の利用促進を広報すること、また防犯カメラは、犯罪防止の大きな武器であることから、総代等に町内会費や町補助金を活用した積極的な設置を進言していきます。